

## ★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 近藤公久 副委員長 久保村千明・鈴木雅実  
幹事 乾 孝司・黒田 航 幹事補佐 富田英司・坪田 康

日時 6月21日(土) 10:10~18:20

会場 早稲田大学8号館303-305(新宿区西早稲田1-6-1. 山手線:高田馬場駅から徒歩20分. 西武新宿線:高田馬場駅から徒歩20分. 地下鉄東京メトロ東西線:早稲田駅から徒歩5分. <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html> 原田康也)

議題 言語と学習・場の共創

1. 具象概念と抽象概念の意味の形成課程について—生物学的にはどちらも同じ免疫グロブリンの分子構造である—  
得丸公明(システムエンジニア)
2. 翻訳について考える2—連結態としての準動詞— 岩垣守彦(ALR)
3. 階層構造型意味空間モデルによる思考の流れの制御 高田明典(フェリス女学院大)

午後(13:15~)

4. 日本語におけるアスペクト形式「-ル」の意味・用法—アスペクト形式「-テイル」との比較の観点から—  
ブリーズナ インナ(神戸大)
5. オンデマンド型 e-Learning の可能性—アウトプットの「見る」を作るために— 芹川佳子(早大)
6. タブレットを活用した英語長文聴解の実施に関する一検討 ○坪田 康・壇辻正剛(京大)
7. 日本人大学生による英語知覚動詞の習得 佐藤正伸(慶大)
8. 日本人英語学習者の英語疑問文産出にみられる傾向—自動化のための訓練の必要性—  
○原田康也(早大)・森下美和(神戸学院大)
9. 第二言語の文法知識の自動化の簡易的な測定方法—WEB版 SPOT と ACTFL 口頭能力測定(OPI)の比較—  
鈴木祐一(メリーランド大)
10. 日本人大学生の英語作文からの特徴量の自動抽出に向けて—予備実験と今後の課題—  
○山田寛章・石井雄隆・原田康也(早大)
11. [基調講演] 思考と言語の研究ロードマップ  
○阪井和男(明大)・近藤公久(工学院大)・佐良木 昌(日大)・黒田 航(杏林大)・横野 光(NII)・原田康也(早大)

◆早稲田大学総合研究機構情報教育研究所共催

【問合先】

久保村千明(山野美容芸術短大)  
E-mail: ckubomura@yamano.ac.jp